

第36回 役員会 議事要録

日 時：平成24年9月28日(金)10:00～11:10

場 所：北方キャンパス本館 E-703 会議室

出席者：石原理事長、近藤副理事長、利島理事、志賀理事、岡本理事、梶原理事、井村理事、
中野(利)監事、中野(昌)監事、木原副学長

- 配付資料
- 1 環境ESDの取り組み状況について
 - 2 教員の再任について
 - 3 職員の採用について
 - 4 ベトナム・ハノイ科学大学及びダナン工科大学との大学間協定の締結について
 - 5 大学間連携共同教育推進事業について
 - 6 グローバル人材育成推進事業について
 - 7 学内におけるリスク軽減策について（防犯カメラ設置要領等について）
 - 8 図書館の耐震改修工事の実施について

報告1 環境ESDの取り組み状況について

配付資料1のとおり、環境ESDの取り組み状況について報告があった。

質疑応答：なし

報告2 教員の再任について

配付資料2のとおり、教員の再任について報告があった。

質疑応答：なし

報告3 職員の採用について

配付資料3のとおり、職員の採用について報告があった。

- 職員採用計画はあるのか。
- 中期計画に沿って進めていきたいと考えている。
- 職員構成を考えた際に、ピラミッド構造を崩さないようにしなければならない。
- 今後プロパー職員の研修体制も作っていかなければならない。
- 契約職員の割合が多い気がするが。
- 他の大学と比べると多いかもしれない。

報告4 ベトナム・ハノイ科学大学及びダナン工科大学との大学間協定の締結について

配付資料4のとおり、ベトナム・ハノイ科学大学及びダナン工科大学との大学間協定の締結について報告があった。

- 何名の受け入れを想定しているのか。
- 2名である。
- ダナン工科大学等の先生方のレベルは高いのか。

○専門分野によって異なる。

●高いのであれば、来ていただいた方がこちらの大学の刺激になって良い。

報告5 大学間連携共同教育推進事業について

配付資料5のとおり、大学間連携共同教育推進事業について報告があった。

質疑応答：なし

報告6 グローバル人材育成推進事業について

配付資料6のとおり、グローバル人材育成推進事業について報告があった。

●補助金の使途は留学の費用に使われるのか。

○スタッフの強化と留学先の開拓等に力を入れて予算を配分したい。

○直接学生に支出することは難しいが、TOEICの受験費用を負担する等でフォローしていきたい。主に人件費、開拓のための国内旅費、国際活動のプログラム開発のために使っていきたいと考えている。

●語学の先生を雇うことは可能か。

○可能である。

○5年という期限があるので、補助金がなくなった後にどうやって維持していくかを含めて、プログラムを考えなければならない。

報告7 学内におけるリスク軽減策について（防犯カメラ設置要領等について）

配付資料7のとおり、学内におけるリスク軽減策について（防犯カメラ設置要領等について）報告があった。

質疑応答：なし

報告8 図書館の耐震改修工事の実施について

配付資料8のとおり、図書館の耐震改修工事の実施について報告があった。

質疑応答：なし

報告9 その他

配付資料なし

○大学あてに1,700万円の遺贈があった。